



頁	場所	誤	正	修正
38	本文 9、10、13 行目	xlLeft	xlToLeft	第 3 版済
45	②	「=」がある構文はオブジェクト式 (B) の	「=」がある構文はオブジェクト式 (A) の	第 4 版済
56	比較演算子の一覧表 5 行目	<b>【演算子】</b> => <b>【意味】</b> 左辺が右辺以下のとき True を返す	<b>【演算子】</b> >= <b>【意味】</b> 左辺が右辺以上のとき True を返す	第 2 版済
56	本文 2 行目	セルを検索する Find ステートメントが	セルを検索する Find メソッドが	第 4 版済
63	型一覧表 単精度浮動小数点数型 の格納できるデータ	正の値：約 $1.4 \times 10^{-45}$ (乗) ～ $1.8 \times 10^{38}$ (乗)	正の値：約 $1.4 \times 10^{-45}$ (乗) ～ <b><math>3.4 \times 10^{38}</math></b> (乗)	第 4 版済
100	書式 4	If 条件 1 Then 処理 1 ElseIf 条件 2 処理 2 End If	If 条件 1 Then 処理 1 ElseIf 条件 2 Then 処理 2 End If	第 3 版済
127	Sample7	Dim N As Long	Dim N As String	第 3 版済
154	手順③の下の本文(※)	まだ一度も保存されたことがない場合は、自動的に [名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示さ れます。	まだ一度も保存されたことがない場合は、カレントフ ォルダに「Book1」など便宜的な名前で保存されます。	第 3 版済

164	本文 下から3行目	このように、ブックの名前を変更するときは、	このように、ワークシートの名前を変更するときは、	
207	手順③の説明	マウスポインタが十時に変わったのを確認して、	マウスポインタが十字に変わったのを確認して、	第3版済
232	手順⑤の説明	[OK] ボタンをクリックして	[閉じる] ボタンをクリックして	第4版2刷済

(※) 補足説明

VBAのコマンドは基本的に、Excelを手動で操作したときと同じ働きをします。たとえば、新しいワークシートを挿入する Worksheets.Add は、手動で [ホーム] タブ→ [挿入] → [シートの挿入] を実行したときと同じ結果になります。

ただし、ブックを上書き保存する Save メソッドは、マクロから実行した結果と、手動で Office ボタン→ [上書き保存] を実行したときで結果が異なります。保存の対象となるブックが「まだ一度も保存されていない」場合、手動で Office ボタン→ [上書き保存] を実行したときは、自動的に [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

対して、マクロで Save メソッドを実行したときは、カレントフォルダに、「Book1」や「Book2」など Excel が便宜的に付けた名前で保存されます。マクロで [名前を付けて保存] ダイアログボックスを表示するには、Save メソッドではなく SaveAs メソッドを実行します。

## ■ 模擬問題プログラム

場所	誤	正
模擬問題① 問題5 選択肢3	個人用マクロブックにマクロを記録すると、「XLSTART」フォルダと「PERSONAL.XLSB」ファイルが作成される。	個人用マクロブックにマクロを記録すると、「XLSTART」フォルダに「PERSONAL.XLSB」ファイルが作成される。
模擬問題① 問題5 解答コメント	「XLSTART」フォルダは個人用マクロブックにマクロ記録しないと作成されません。	「PERSONAL.XLSB」ファイルは個人用マクロブックにマクロ記録しないと作成されません。
模擬問題② 問題27 選択肢4	Open メソッドで開いたブックに自動実行マクロが含まれている場合、そのマクロは実行されない	Open メソッドで開いたブックに「Auto_Open」という自動実行マクロが含まれていても、その自動実行マクロは実行されない。

平成28年10月26日現在